

第 31 期 定時株主総会

令和 7 年 8 月 8 日

株式会社五ヶ瀬ハイランド

第 31 期事業報告

令和 6 年 6 月 1 日から令和 7 年 5 月 31 日まで

31 期五ヶ瀬ハイランド事業報告

31 期スキー事業部においては、3 年ぶりにオープンすることを決定して準備を進めてきた。道路の復旧は完全ではないものの、関係者各位のご協力のもと一般車の通行、シャトルバスの運行と休業前と同じ状況でお客様を迎えられることが出来た。また従業員の確保や施設の老朽化などの多くの課題を抱えながらの再開ではあったが、町と一体になって最終日まで大きな事故もなく終える事が出来た。

85 日間の営業期間中、悪天候によるクローズが 5 日間あった為、75 日の営業となった。

来場者数は 19,847 人となり目標としていた 25,000 人の達成には至らなかった。

スキー場の営業再開は、五ヶ瀬町にも明るい話題となり、訪れた町民からは多くの励ましや期待の声をいただいた。五ヶ瀬にあるスキー場の良さを更に多くのお客様に知っていただく為に、宣伝にも力を入れていくと共に、新たなサービスの構築と、オフシーズンの利活用も併せて、更に力を入れていきたい。

31 期宿泊事業部では、前期実績にあった様な長期宿泊の予約は無く、一般の宿泊を増加させて客単価を上げる事。合宿と併せて一般の宿泊を別館に多く宿泊していただくことで稼働率を上げる事。以上の 2 点について、前期から取り組んでいる改革を引き続き行った。その結果、宿泊売り上げに関しては、前期（長期団体利用あり）を除けば、右肩上がりで推移している。

レストラン売り上げに関しては、宿泊者の食事数はのびしているものの、コロナから先が一般のレストラン利用者、宴会数共に減少し売り上げを落としている。宿泊者の食事の提供数を更に増やす事と一般と、合宿の食事の提供を両立するなどを引き続き行う。

部署によっては人員不足を抱える中に、出来るサービスを模索して、営業のスタイルも変更しながら乗り切ってきた。ビアガーデンの営業曜日の限定や、レストランのメニューの見直しなど、町民からは厳しいお声もいただきながら、現状に併せた苦渋の決断も多くあった。

会社全体としては、売上高 199,359,507 円、営業経費 249,285,331 円、補助金等の営業外の収益を併せて当期純総益を 29,029,663 円のマイナスで終える事となった。

今後は資金繰りも含め、経営状況の把握を細かく行う事と、計画や実績を各部署の社員全員が把握をして、経営改善の意識を持つ事を周知徹底していきたい。

貸借対照表

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

令和7年8月8日

単位:円

資 産 の 部			負 債 の 部		
【流動資産】		14,756,095	【流動負債】		91,615,870
現金及び預金		7,286,165	買掛金		4,521,708
売掛金		4,616,699	短期借入金		30,000,000
繰越商品		590,083	未払金		28,131,842
貯蔵品		1,161,577	前受金		25,070,300
原材料		879,106	預り金		633,420
前払費用		160,500	未払法人税		182,500
未収金		61,965	未払消費税等		3,076,100
立替金			【固定負債】		44,138,000
その他流動資産			長期借入金		44,138,000
			負債合計		135,753,870
			純資産の部 (資本)		
			【株主資本】		△ 119,413,923
			【資本金】		
			資本金		50,000,000
			資本準備金		
【固定資産】		1,583,852	利益準備金		1,200,000
(有形固定資産)			繰越利益剰余金		△ 170,613,923
建物		519,748	その他利益剰余金		△ 170,613,923
什器備品		308,160	利益剰余金合計		△ 169,413,923
構築物		99,764			
機械装置		1	純資産合計 (資本)		△ 119,413,923
建物附属備品		455,199			
(投資その他資産)					
出資金		100,000			
保証金		20,000			
預託金		80,980			
資産合計		16,339,947	負債・純資産 (資本) 合計		16,339,947

損 益 計 算 書

株式会社 五ヶ瀬ハイランド

自 令和 6年 6月 1日
至 令和 7年 5月31日

(単位：円)

【 売 上 高 】

スキー場リフト売上	41,549,478	
スキー場レンタル売上	38,791,095	
宿 泊 売 上	39,700,545	
温 泉 売 上	8,903,065	
レストラン売上	39,268,873	
キャンプ場売上	268,520	
スキー場ショップ売上	7,582,256	
スキー場レストラン売上	15,029,244	
スキー場スクール売上	3,440,978	
売 店 売 上	<u>4,825,453</u>	199,359,507

【 売 上 原 価 】

期首商品棚卸高	1,280,749	
仕 入	31,608,698	
期末商品棚卸高	<u>1,469,189</u>	<u>31,420,258</u>
売 上 総 利 益		167,939,249

【 販 売 費 一 般 管 理 費 】

給 料 手 当	37,453,366
雑 給	67,874,562
賞 与	4,107,716
退 職 金	310,200
法 定 福 利 費	8,782,429
福 利 厚 生 費	1,212,153
燃 料 費	26,913,206
通 信 運 搬 費	2,690,204
保 険 料	1,206,110
接 待 交 際 費	245,154
支 払 手 数 料	9,452,140
消 耗 品 費	2,900,092
広 告 宣 伝 費	8,873,533
水 道 光 熱 費	24,123,512
図 書 研 修 費	143,683
委 託 料	5,697,544
使 用 料 及 賃 借 料	22,105,598
租 税 公 課	1,205,492
寄 付 金	50,000
旅 費	143,778
税 理 士 報 酬	750,000

修繕費		5,789,711	
家賃		540,000	
減価償却費		268,623	
会議費		4,966	
消耗品費		14,512,961	
研修費		88,655	
販売促進費		590,360	
雑費		3,249,583	<u>249,285,331</u>
営業損失			81,346,082
【営業外収益】			
受取利息		9,129	
雑収入		53,123,441	<u>53,132,570</u>
【営業外費用】			
雑損失		7,629	
支払利息		626,022	<u>633,651</u>
経常損失			<u>28,847,163</u>
税引前当期純損失			28,847,163
法人税、住民税及び事業税		182,500	<u>182,500</u>
当期純損失			<u><u>29,029,663</u></u>

第22期 定 時 株 主 総 会

令和7年6月19日

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

第 22 期

{ 令和 6 年 4 月 1 日から
 令和 7 年 3 月 31 日まで } 事業報告書

事業概況

第 22 期における工場売上高（小売店・飲食店・卸業者・ワイン館出荷他）は、85,564 千円で第 21 期売上高（83,725 千円）に対して 1,839 千円増（102.2%）となりました。昨今の物価高において県内での消費が伸び悩む中、九州都市部である、福岡・熊本での市場開拓に注力し、小売店（百貨店・高級スーパー等）での新規取引が開始されたことが大きな要因のひとつとなりました。しかし、課税移出数量から見ますと今期は 35,517 ㍑であり、前期 42,545㍑から約 7,000㍑減少しております。コロナ禍以降、世界的なエネルギー、食糧価格の高騰など物価高が続いており、嗜好品である酒類全体の消費が更に落ち込み、売上げに大きな影響を受けました。コロナ禍前の売上高が 100,000 千円前後で推移していたことから、当期を含めここ数年は 15～20%減の状況が継続しております。

直売所である売店「ワイン館」の売上高は 54,517 千円で、前期（51,855 千円）に対して、2,662 千円増（105.1%）となりました。令和 5 年 5 月、新型コロナウイルス感染症が 2 類相当から 5 類感染症へと移行し、各地でイベントが開催されるようになり、イベントへの出店販売による売上げが約 1,600 千円計上されました。一方で、団体型から個人型への旅行形態の変化に加え、物価高による景気低迷も重なり、レジ客数 12,237 と前期比（12,875）5%減と来館客数は減少しましたが、当期は観光庁の「地域観光新発見事業」に採択され、補助金を利用しワインツーリズムを醸成して、新たな顧客の開拓に取り組みました。コロナ禍以降、緩やかな回復傾向ではあるもののコロナ禍前の約 15%減の状況となっております。

レストラン「雲の上のぶどう」の売上高は 15,666 千円で前期（16,275 千円）に対して、609 千円減（96.3%）となりました。桜の開花が遅れたことで 3 月の売上げが前期に対して 500 千円減となったことが要因のひとつとなりました。忘新年会や歓送迎会、同窓会など各シーズンでの宴会予約は前期同様の売上げを計上いたしました。一方、団体客の集客が伸びなかったことに加え、前期計上された 1 件の大きな団体（建設業協会様）予約分がマイナスに働きました。こうしたことから、コロナ禍前の 19,000 千円前後の売上高までの回復とはなりませんでした。

農園売上高につきましては、経営の健全化を図るため、管理圃場を返却しぶどうの生産を行わなかったことにより当期の計上はございませんでした。

それでは、当期の事業概況についてご報告申し上げます。

売上高 155,756 千円、当期純損益金額 4,374 千円、当期末処理損益金額は△115,176 千円という結果となりました。

貸 借 対 照 表

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

令和 7年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I【流 動 資 産】	153,117,633	I【流 動 負 債】	148,509,274
現金及び預金	9,528,344	短期借入金	139,500,000
売掛金（売店）	1,755,991	未払金	3,338,124
売掛金（工場）	3,333,245	未払費用	3,616,950
売掛金（レストラン）	531,030	未払法人税等	182,500
棚卸資産	125,420,823	未払消費税等	1,794,700
未収入金	428,000	預り金	77,000
仮払金	60,220		
貯蔵品	12,059,980	II【固 定 負 債】	35,121,000
		長期借入金	35,121,000
II【固 定 資 産】	1,380,040		
1【有形固定資産】	873,820	負債合計	183,630,274
建物附属設備	795,139	純 資 産 の 部	
車両運搬具	1		円
工具器具備品	8	I【株 主 資 本】	△29,132,601
器具備品	78,666	1 資 本 金	50,000,000
機械装置	6	2【資本剰余金】	36,043,573
2【無形固定資産】	500,000	（その他資本剰余金）	36,043,573
ソフトウェア	500,000	3【利益剰余金】	△115,176,174
3【投資その他の資産】	6,220	（その他利益剰余金）	△115,176,174
差入保証金	6,220	繰越利益剰余金	△115,176,174
		純 資 産 合 計	△29,132,601
資 産 合 計	154,497,673	負債・純資産合計	154,497,673

損 益 計 算 書

五ヶ瀬ワイナリー株式会社

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日

科 目	金 額	円
I 【 売 上 高 】		
売上高（売店）	54,517,389	
売上高（工場）	85,564,437	
レストラン売上高	15,665,733	
売上高（風のホール）	8,181	155,755,740
II 【 売 上 原 価 】		
期首商品棚卸高	3,872,041	
期首製品棚卸高	123,386,960	
商品仕入高	44,862,766	
材料仕入高	5,830,637	
酒 税	2,347,500	
当期製品製造原価	58,930,599	
期末製品棚卸高	121,851,480	
期末商品棚卸高	3,569,343	113,809,680
売上総利益		41,946,060
III 【 販 売 費 一 般 管 理 費 】		73,839,221
営 業 損 失		31,893,161
IV 【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	12,990	
雑 収 入	33,293,738	33,306,728
V 【 営 業 外 費 用 】		
雑 損 失	819,007	
支 払 利 息	3,437,062	4,256,069
経 常 損 失		2,842,502
VI 【 特 別 利 益 】		
補 助 金 収 入	7,398,870	7,398,870
税引前当期純利益		4,556,368
法人税、住民税及び事業税	182,500	182,500
当 期 純 利 益		4,373,868

前期対比表

損益計算書

第22期(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

単位:円

科 目		21期 (R5年度)	22期 (R6年度)	増 減	対 比 (%)
売上高	工 場	83,724,848	85,564,437	1,839,589	102.2
	売 店	51,854,645	54,517,389	2,662,744	105.1
	料 飲	16,275,484	15,665,733	-609,751	96.3
	農 園	1,383,395	0	-1,383,395	0.0
	風のホール	5,454	8,181	2,727	150.0
合 計		153,243,826	155,755,740	2,511,914	101.6
売上原価	期首棚卸高	112,510,101	127,259,001	14,748,900	113.1
	商品(材料)仕入高	48,281,172	50,693,403	2,412,231	105.0
	酒税	2,503,900	2,347,500	-156,400	93.8
	当期製造原価	70,650,954	58,930,599	-11,720,355	83.4
	小 計	233,946,127	239,230,503	5,284,376	102.3
	期末棚卸高	-127,259,001	-125,420,823	-1,838,178	98.6
合 計		106,687,126	113,809,680	7,122,554	106.7
売上総利益		46,556,700	41,946,060	-4,610,640	90.1
販売費及び一般管理費		68,579,530	73,839,221	5,259,691	107.7
営業損益		-22,022,830	-31,893,161	-9,870,331	69.1
営業外 収益	受取利息	260	12,990	12,730	4996.2
	雑収入	23,031,374	33,293,738	10,262,364	144.6
	合 計	23,031,634	33,306,728	10,275,094	144.6
営業外費用 (支払利息)		3,522,928	4,256,069	733,141	120.8
経常損益金額		-2,514,124	-2,842,502	-328,378	88.4
特別利益 (補助金収入)		8,967,240	7,398,870	-1,568,370	82.5
特別損失		480,121	0	-480,121	0.0
税引前当期純損益金額		5,972,995	4,556,368	-1,416,627	-31.1
法人税・住民税及び事業税		182,500	182,500	0	100.0
当期純損益金額		5,790,495	4,373,868	-1,416,627	-32.4
前期繰越損益		-125,340,537	-119,550,042		—
当期末処理分損益金額		-119,550,042	-115,176,174		—